

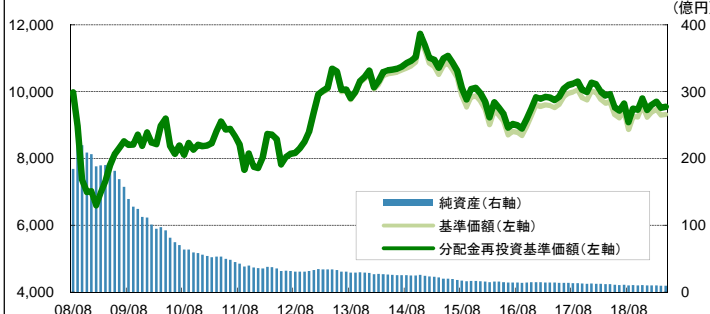


モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (年2回決算型)

追加型投信 / 内外 / 債券

運用実績

運用実績の推移 (設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した分配金再投資基準価額推移、および右記の収益率は、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、収益率は異なります。
 ・基準価額の推移は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を指数化しております。信託報酬は純資産総額に年1.026% (税抜0.95%) の率を乗じて得た額となります。

| | |
|---------|---------|
| 基準価額* | 9,315 円 |
| 前月比 | 20 円 |
| ※分配金控除後 | |
| 純資産総額 | 9.8 億円 |

■信託設定日:2008年8月28日
 ■信託期間:2023年8月15日まで
 ■決算日:原則、毎年2月15日
 および8月15日
 (同日が休業日の場合は翌営業日)

| 期間収益率 | |
|-------|-------|
| 期間 | ファンド |
| 1か月 | 0.2% |
| 3か月 | -0.7% |
| 6か月 | 0.8% |
| 1年 | -3.9% |

| 分配金(課税前)の推移 | |
|-------------|-----|
| 年月 | 金額 |
| 2019年2月 | 0 円 |
| 2018年8月 | 0 円 |
| 2018年2月 | 0 円 |
| 2017年8月 | 0 円 |
| 2017年2月 | 0 円 |

| | |
|-----|-------|
| 設定来 | -4.6% |
|-----|-------|

| | |
|-------|-------|
| 設定来累計 | 250 円 |
|-------|-------|

*収益率の各計算期間は、作成基準日から過去に選んだ期間としております。
 *設定来=2008年8月28日以降
 ※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

基準価額変動の要因分解(概算)

| | 2019年2月 | 2019年3月 | 2019年4月 | 直近3ヵ月累計 | |
|----------|-------------|---------|---------|---------|-------|
| 基準価額騰落額 | 90 円 | -173 円 | 20 円 | -63 円 | |
| 分配金 | 0 円 | - | - | 0 円 | |
| 通貨部分 | 米ドル | 21 円 | 4 円 | 9 円 | 34 円 |
| | オーストラリア・ドル | 8 円 | -6 円 | -2 円 | 0 円 |
| | ニュージーランド・ドル | 12 円 | -4 円 | -14 円 | -7 円 |
| | ノルウェー・クローネ | 2 円 | -9 円 | 4 円 | -3 円 |
| | ポーランド・ズロチ | 0 円 | -10 円 | 1 円 | -8 円 |
| | メキシコ・ペソ | 24 円 | 2 円 | 28 円 | 54 円 |
| | 南アフリカ・ランド | -19 円 | -45 円 | 23 円 | -40 円 |
| | トルコ・リラ | 13 円 | -73 円 | -36 円 | -95 円 |
| | インドネシア・ルピア | 38 円 | -1 円 | 17 円 | 54 円 |
| ブラジル・リアル | 10 円 | -42 円 | 0 円 | -32 円 | |
| その他 | -20 円 | 11 円 | -11 円 | -20 円 | |

・左記の要因分析は、一定の仮説のもとに委託会社が試算したものであり、直近3ヵ月の基準価額騰落額の要因を円貨にて表示しております。

・1円未満を四捨五入して表示していますので、各内訳の合計値が基準価額騰落額とならない場合があります。

資産内容

| ポートフォリオ構成 | |
|----------------------------|--------|
| 項目 | 純資産比 |
| モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド | 49.9% |
| モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド | 49.9% |
| 現金その他 | 0.2% |
| 合計 | 100.0% |

・ポートフォリオ構成は、モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(年2回決算型)が保有する資産比率から算出しています。

| 通貨別配分 | |
|-------------|-------|
| 通貨 | 純資産比 |
| 米ドル | 10.1% |
| オーストラリア・ドル | 10.1% |
| ニュージーランド・ドル | 9.7% |
| ノルウェー・クローネ | 9.9% |
| ポーランド・ズロチ | 9.9% |
| メキシコ・ペソ | 10.5% |
| 南アフリカ・ランド | 10.1% |
| トルコ・リラ | 9.1% |
| インドネシア・ルピア | 10.0% |
| ブラジル・リアル | 10.2% |
| その他通貨 | 0.3% |

・通貨別配分は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

| 資産配分 | |
|-----------|--------|
| 資産 | 純資産比 |
| ソブリン債* | 98.5% |
| 社債等 | 0.0% |
| 預金等およびその他 | 1.5% |
| 合計 | 100.0% |

※ソブリン債には、国債、政府機関債、国際機関債などを含まれます。

| 格付別配分 | |
|-------------|--------|
| 格付 | 純資産比 |
| AAA | 39.2% |
| AA | 0.0% |
| A | 20.3% |
| BBB | 19.9% |
| BB | 19.1% |
| B | 0.0% |
| CCC以下および無格付 | 0.0% |
| 現金その他 | 1.5% |
| 合計 | 100.0% |

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。

| ポートフォリオ特性値 | |
|------------|------|
| 平均格付 | A- |
| 平均最終利回り | 5.9% |
| 平均デュレーション | 1.1年 |

・ポートフォリオ特性値は、実質的な組入債券等(現金を含む)の各特性値(最終利回り、デュレーション)を、その実質的な組入比率で加重平均したものと(現地通貨建て)また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、各ランク毎に数値化したものを加重平均しています。

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。また、平均格付は基準日時点でファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付ではありません。
 ・デュレーションとは、金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す割合です。

・各比率は、モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(年2回決算型)の各マザーファンドの組入比率と各マザーファンドの各資産組入比率から算出しています。

・各データは、現地時間基準で計上する弊社ポートフォリオ・システム(現地運用担当が使用しているシステム)にて算出しています。

・小数第2位を四捨五入して表示していますので、合計値が100%にならない場合があります。

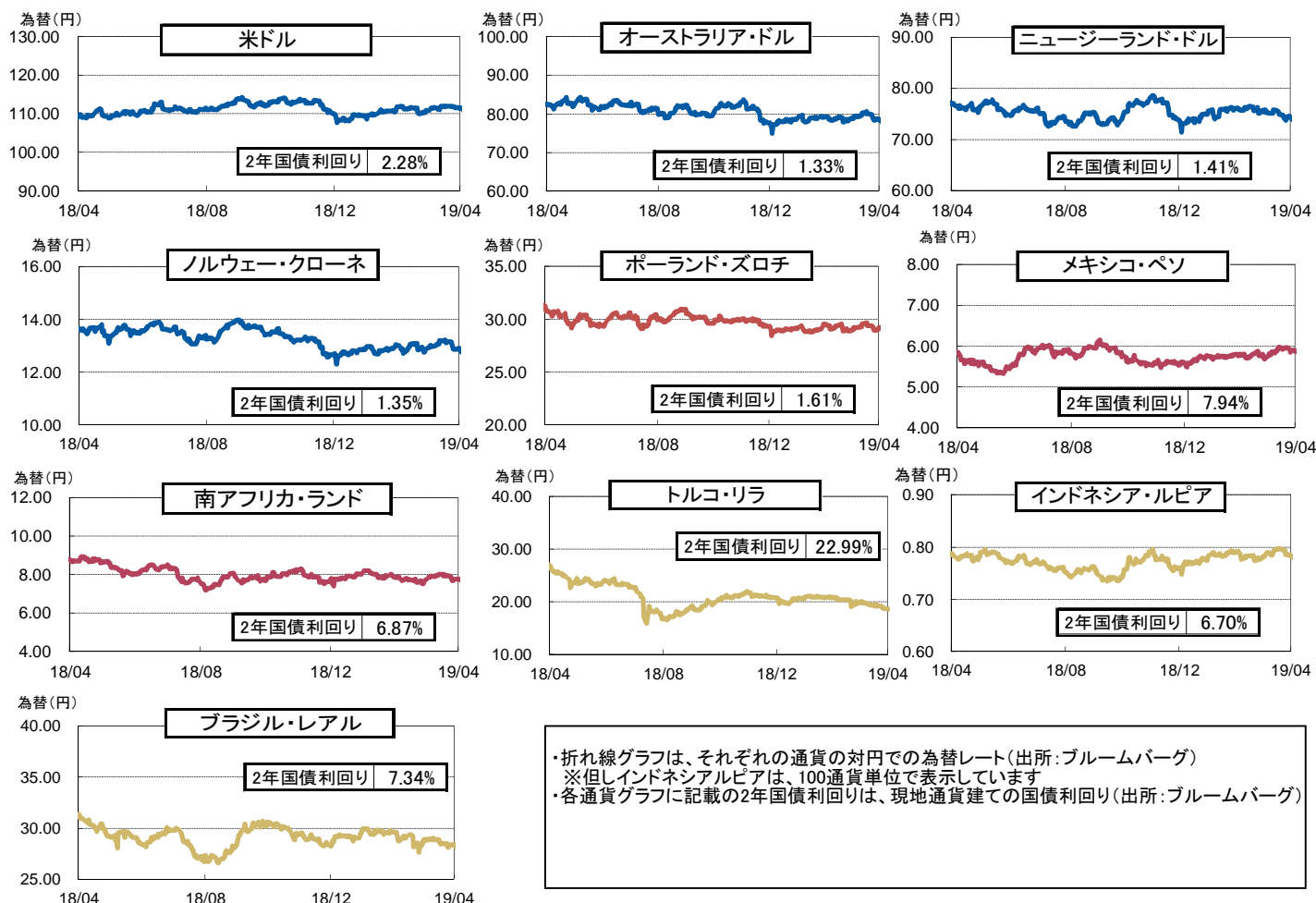
当資料はモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントが作成した情報提供資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当資料は、特定銘柄および債券市場全般の推奨や、債券等の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された記述内容、数値、図表等は、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。ファンドは、元本が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。ご購入のお申込にあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認の上、ご自分でご判断ください。



モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信
(年2回決算型)

追加型投信／内外／債券

投資対象通貨の為替レート(日次)と2年国債利回り



当月の市場動向

当ファンドで4月末現在において投資している10通貨は対日本円で平均0.1%の上昇となりました。米国の1-3月期GDPが良好な結果となったことや、中国において、これまでの金融緩和等の効果が経済指標に現れ始めていることが確認されたことを背景に、グローバルにも景気の先行きに対する過度な警戒が和らぎ投資家センチメントが改善しました。金融市場が全般的に落ち着いた推移となる中、高金利通貨についても概ね落ち着いた推移となりました。

個別の通貨では、対日本円でメキシコ・ペソが3.1%上昇した一方で、トルコ・リラが6.1%下落しました。メキシコ・ペソについては、米国トランプ大統領がメキシコとの国境閉鎖の考えを撤回したことや、中央銀行が金融引き締め姿勢を維持していることがサポート要因となり、比較的堅調な推移となりました。トルコ・リラについては、中央銀行が金融引き締め姿勢を弱め、市場参加者の間で利下げ転換期待が高まったことが下落要因となりました。また、地理的に近く経済的に結びつきの強いユーロ圏の経済指標の鈍化もセンチメントに影響しました。

尚、当ファンドで主に投資している10通貨において、政策金利の変更はありませんでした。

当月の運用経過 (運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

当月の「モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(年2回決算型)」の騰落率は +0.2%(分配金再投資)となりました。ポートフォリオの運用においては、マザーファンドへの投資を通じて相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な先進国と新興国の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

当資料はモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントが作成した情報提供資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当資料は、特定銘柄および債券市場等全般の推奨や、債券等の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された記述内容、数値、図表等は、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。ファンドは、元本が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。ご購入のお申込にあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。



モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (毎月分配型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 内外 / 債券

ファンドの特色

1. 高金利で為替見通しが良好な、先進国と新興国の10通貨※1に分散投資します。

- 相対的に金利水準の高い世界各国(新興国を含みます。)の債券および短期金融商品等に、為替見通しを勘案して投資を行うことにより、安定した金利収入の獲得と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
- 投資対象とする各通貨への配分は、均等とすることを基本とします。
- 投資対象とする債券の残存期間は通常3年以下とし、ポートフォリオのデュレーション※2は原則として0~2年程度に維持することを基本とします。
- 外貨建て資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。

※1 投資対象通貨の見直し、入れ替えなどを行う場合に、10通貨としないことがあります。

※2 デュレーションとは、金利が変動した場合、債券価格がどの程度変動するかを示す指標のことです。この数値が大きいくほど、金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。

2. 「毎月分配型」と「年2回決算型」があります。

- 《安定分配》の「毎月分配型」※3、《資産成長性》の「年2回決算型」※4、どちらかを選択できます。
- 「毎月分配型」は毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。なお、運用成績次第ではボーナス分配を行う場合があります(当面2月、8月を予定)。
- 「年2回決算型」は毎年2月15日および8月15日(休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。

※3 原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行う方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配としない場合があるにご留意下さい。

※4 ※3、※4 いずれも、将来の分配金の支払いおよびその金額を保証するものではありません。

3. モルガン・スタンレーの2つの専任の運用チームが《先進国と新興国》を担当します。

- 先進国通貨部分、新興国通貨部分、それぞれ専任の運用チームが担当し、世界最大級の金融グループ「モルガン・スタンレー」がグローバル市場で培ったノウハウを最大限に活かして運用を行います。

ファンドの主なリスク

ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動もあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資信託は預貯金と異なり、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託財産に生じた利益および損失はすべて投資家の皆様に帰属します。また、投資信託は預金保険機構あるいは保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。

ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「金利変動リスク」「信用リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」等があります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

| | |
|---------|--|
| 設定日 | 2008年8月28日(木) |
| 信託期間 | 2023年8月15日まで |
| 決算・分配 | 【毎月分配型】原則として毎月15日(休業日の場合は翌営業日)。 【年2回決算型】原則として毎年2月15日および8月15日(休業日の場合は翌営業日)。 各決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、分配を行わないこともあります。 |
| 申込日 | 原則として、販売会社の毎営業日に受付です。ただし、ニューヨーク証券取引所あるいはニューヨークまたはロンドンの銀行の休業日に該当する日は、お申込みの受付は行いません。販売会社で定める単位とします。詳しくは、販売会社へお問い合わせください。 |
| 購入単位 | ご購入申込受付日の翌営業日の基準価額(ご購入代金は、原則としてご購入申込受付日から起算して6営業日目までに販売会社にお支払いいただきます)。 |
| 購入価額 | ご換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。 |
| 換金価額 | 原則としてご購入申込受付日から起算して6営業日目から販売会社にお支払いいたします。 |
| 換金代金の支払 | 原則として、収益分配時の普通分配金、換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。税法が改正された場合等にはその内容が変更になる場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。 |
| 課税関係 | |
| 受託会社 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |

ファンドの費用

| | |
|--|--|
| 当ファンドのご購入時や保有期間中には、以下の費用がかかります。 | |
| ■直接ご負担いただく費用 | |
| 購入時手数料 | ご購入申込受付日の翌営業日の基準価額に販売会社が個別に定める 3.24%(税抜3.00%) 以内の率を乗じて得た額とします。 ※購入時手数料は、販売会社によるファンドおよび関連する投資環境の説明ならびに情報提供、ファンドの募集・取扱い事務等の対価です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 信託財産留保額 | ご換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.15% の率を乗じて得た額とします。 |
| ■間接的にご負担いただく費用 | |
| 運用管理費用(信託報酬) | ファンドの日々の純資産総額に 年1.026%(税抜0.95%) の率を乗じて得た額とします。 |
| その他の費用・手数料 | 信託事務等の諸費用、組入有価証券を売買する際に生じる取引費用、監査法人等に支払うファンドの監査費用、運用報告書等法定書類の作成費用等が保有期間中その都度かかります。(これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。) |
| 直接および間接的にご負担いただく費用の合計額は、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」をご覧ください。 | |

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

野村證券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会: 日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/一般社団法人金融先物取引業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第180号
加入協会: 日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

設定・運用は

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社

商号: モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第410号
加入協会: 日本証券業協会/一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当資料はモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントが作成した情報提供資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当資料は、特定銘柄および債券市場等全般の推奨や、債券等の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された記述内容、数値、図表等は、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。ファンドは、元本が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。ご購入のお申込にあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。